KSRS NEWS Letter

Vol.10
2025.10

教育支援事業

● 講演会の開催

【KSRS Webセミナー】 2025年8月28日(木) zoom　共催：京セラ株式会社 様

《テーマ①》
座長：昭和大学横浜市北部病院　整形外科　准教授　大下　優介　先生
講師：昭和大学横浜市北部病院　整形外科　講師　早川　周良　先生
「成人脊柱変性として首下がり症候群を考える」

《テーマ②》
座長：東海大学医学部外科学系　整形外科　教授　酒井　大輔　先生
講師：横浜市立大学　整形外科学教室　助教　片山　裕貴　先生
「脊椎外科にこそエコーは有用である」



研究支援事業

【論文掲載】
・Adverse events and continuity of tramadol hydrochloride biphasic immediate-release / extended-release tablets for patients with chronic pain related to spine diseases
（聖マリアンナ医科大学病院 赤澤努先生）
→ PAIN RESEARCH掲載に掲載されました。



【学術発表】
・骨粗鬆症性椎体骨折のAO Spine-DGOUタイプ別の手術適応と術式選択に関する検討―神奈川県内の36医療機関を対象とした調査報告―（秦野赤十字病院 松山大輔先生）
→2025年4月17日(木)～19日(土)に開催された 第54回 日本脊椎脊髄病学会学術集会において発表されました。

現在計画・進行中の臨床研究

● KSRS臨床研究（多施設研究）

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

《計画中》

◎腰椎椎体間固定術における術前栄養状態と術後転帰に関する多施設研究（案）

術前の栄養状態は、手術部位感染や合併症、再手術率と関連があるとされる。
近年、脊椎手術でも骨密度検査を行い、必要に応じて骨粗鬆症治療をするBone Health Optimizationが提唱されている。
しかし、腰椎椎体間固定術における栄養状態の評価は、単一施設の報告が数編あるにとどまっている。

➡術前栄養状態とBone Healthが術後の骨癒合率や再手術率に及ぼす影響を検討することを目的とする。

今後も様々な多施設という特性を活かした有効的な臨床研究を実施して参ります。
ご意見、ご要望のある方は是非KSRS事務局までご連絡ください。

● 令和6年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただけます。
URL：https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP ： https://kanagawa-sekitsui.jp/
X（旧Twitter） ： @kanagawa_spine
Facebook ： @kanagawaspine